

アウトリガ操作時の作業用補助制動装置の作動について

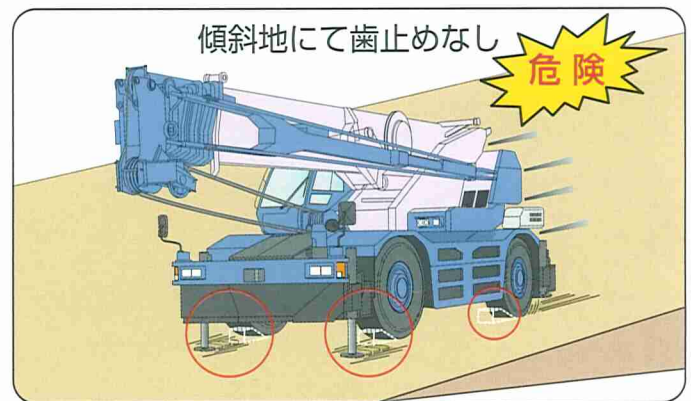
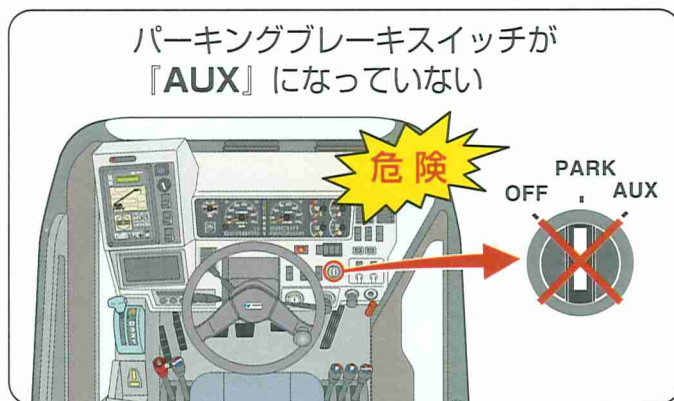
【アウトリガ操作時の注意事項】

ラフテレーンクレーンにおいてアウトリガ操作をする際、パーキングブレーキのみでは地面の状態によって、タイヤのいずれかが浮いた瞬間或いは接地した瞬間に制動力が無くなり、クレーンが滑り出す危険があります。

安全のため地面の状態に係わらず、アウトリガ操作を行う場合はパーキングブレーキスイッチを「AUX」（作業用補助制動装置を作動）にしてください。又、アウトリガ操作後はパーキングブレーキスイッチを「PARK」（作業用補助制動装置を解除）にしてください。

※危険防止のため、傾斜地での駐車は避けてください。

やむを得ず傾斜地に駐車するときは、機械が逸走しないようにタイヤに歯止めをして下さい。



作業用補助制動装置の作動方法

- ①シフトレバーが『N』の状態を確認します。
- ②パーキングブレーキスイッチを「AUX」にします。
(作業用補助制動装置が作動し、作業用補助制動装置警告灯が点灯します)

確認!

シフトレバー



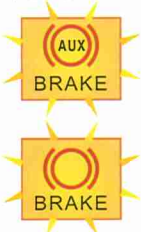
確認!

パーキングブレーキスイッチ



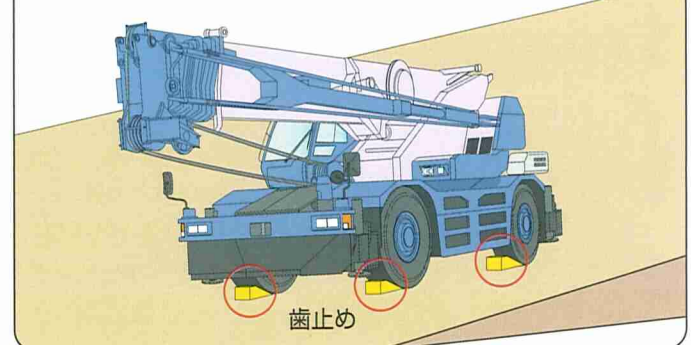
確認!

警告灯の点灯



傾斜地での歯止めのしかた

- ・アウトリガ操作前に、タイヤの坂下側に歯止めをします。
- ・歯止めはタイヤに密着させておきます。



※アウトリガ操作の詳細な使用方法及び注意事項については取扱説明書を参照願います。

※機種により、上記イラストと異なる場合があります。

メンテナンスのご用命は右記サービス工場へ



株式会社 タダノ
サービス部作成